



医療法人社団 徳耀会

Medical Corporation Tokuyukai

令和4年8月194号 発行  
徳耀会 医科・歯科・介護

# 医療福祉情報

## 性病について

内科 医師 大楽 先生



今回は性病についてお話しします。性病には、クラミジア感染症、性器ヘルペス、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、トリコモナス膣炎、ケジラミ症、B型肝炎（血液でも感染）などがあります。どれも性交渉で感染するもので、最も多いのがクラミジア感染症ですが、ここ数年急増しているのが梅毒です。梅毒は、（3週間位して）最初に痛みのない硬いしこりが感染部位にでき、脚のつけ根のリンパ節の腫れなどがおこり、なおるとその後1〜2カ月して手足全身に発疹があらわれます。これらは自覚症状（痛み・かゆみなど）を伴わずおさまりませんが、体の中で梅毒の病原菌が増殖し数年から数十年すると心血管神経に異常があらわれます。このため、症状が現れたり、パートナーが梅毒にかかっている場合は（血液）検査をうけ、ペニシリン等で完治までしっかり治療が必要です。

## 目に見えない心と目に見えるもの

心療内科 精神科 田畑 先生



心そのものは目に見えません。心を扱う心療内科でも、本当は何かしらの検査によって患者さんのお悩み、気分、ストレスなどが目に見える形で正しく評価できる良いですが、おわりの通り、血液検査、レントゲンなどでは目に見えません。では私たちがどんな風に心を評価しているかと言った、目に見える表情や行動、耳から聞こえる声（大きさ、抑揚、テンポなど）を参考にしています。もちろん患者さんのお話（落ち込み、不安感などの心について自覚されている情報）は最も重要なのですが、目に見える情報と一致しているかどうかの確認も重要です。また、診察という特殊な環境では十分な情報が得られない場合もあるのですが、日常生活のより多くの時間を共に過ごせるご家族やご友人からのお話も参考になります。将来的には心が目に見えるような検査法が開発されることを期待しながら、今現在の心療内科の診察について書かせていただきます。

## 定期的な歯科検診

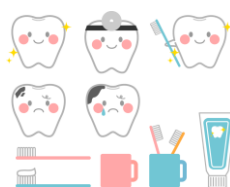
歯科 医師 烏田 先生



みなさん、歯科検診は定期的に受けていますか？  
今年6月、国民皆歯科検診について日本歯科医師会はこの制度は約3年から5年をめどに取り組みを進めていくことを発表しました。  
厚労省の歯科疾患実態調査によると30〜50才の約40%、50才以上の約55%が中等度以上の歯周病に罹患しています。歯周病は自覚症状がなく、そのまま放置していると歯肉は腫れ、骨が減り、歯は揺れ、最終的に喪失してしまいます。そうなるとお食事が困難になります。また、歯周病は全身疾患に影響があります。糖尿病、心臓血管疾患、低体重児出産などを引き起こすリスクが高まります。  
他にも唾液に含まれる細菌が誤って気管支、肺に入ると気管支炎や誤嚥性肺炎の原因になります。  
早期発見、早期治療に繋げるためには定期的な歯科検診を受けましょう。

## 歯周病と歯肉炎

歯科 医師 立浪 先生



歯周病で歯肉から膿が出たりする原因は、歯周病原菌が出す毒素です。つまり、歯周病という状態は、歯周病原菌が口の中で繁殖している状態になります。歯周病原菌がいれば歯周病ですし、いなければ単なる歯肉炎です。単なる歯肉炎は歯磨きすれば治りますが、歯周病原菌がいれば、どんなにきれいに歯を磨いても歯周病は治らないのです。歯周病になると、歯の周囲の骨が溶けてなくなります。一方で歯肉炎は歯肉だけに炎症が起きた状態です。これは大きな違いですが、意外と自分ではわかりにくいので専門的な診断をお勧めします。歯周病はうつります。歯周病原菌は、歯ブラシやキスなどによって口から口へうつるので気を付けなければなりません。ただし、歯周病原菌が定着する場合は、個人の免疫の状態によって変わってきます。免疫の力が強ければ、入ってきた歯周病原菌をやっつけることができます。ですから、歯周病原菌が口の中に入っても、必ずしも感染することはありません。歯周病は、ごく初期の段階では気がつきません。「サイレント・デジーズ」と呼ばれることもあるくらいです。歯肉からの出血や痛みが出てくるときには、かなり進行した段階と考えるといいです。痛い歯だけではなく、他の歯も歯周病が進行している状態と考える方が良いでしょう。他には、歯が動いてきたり、口臭がしたりすることから気づくこともあります。いずれにしても、初期には症状がなかなか現れないので注意が必要です。定期的に歯医者へ受診し、検診を行いましょう！

## 事実本位と気分本位

田邊 心理士



こんにちは！暑さが厳しいですが皆様いかがお過ごしですか？  
さて、電車やバスに乗れないという不安な状態を「存知ですか？乗物恐怖」といいます。公共の逃げられない場所で体調不良を起こしてしまうかも、という不安から乗るのを避けているうちに本格的に乗れなくなります。学校や職場の近くに住まざるを得ないとか、自転車通勤をせざるを得ない等、生活に支障が出ます。こうした症状の方には「事実本位」の実践をお勧めしています。つまり、「事実」を物差しにして自分を見る態度の実践です。「大変だと思えますが、乗る用事がある時は不安でも渋々乗ってください。そして用事を終えたら、不安でもできたという事実を認め、自分を褒めてあげてください。」  
一方の「気分本位」とは、頑張っって乗って用事を終えても、不安になったから自分はダメだ、と「気分」を物差しに自分を見る態度です。再び乗り物に乗れるようになるためには、「事実本位」と「気分本位」のどちらの態度の実践が役立つと思われるか？実際に試してみますと、私自身が乗物恐怖の症状を「事実本位」の実践で克服しました。

### ～ご報告～

当法人では、毎月、グループホーム入居者様、並びに当法人職員及びヘルパーのPCR検査を実施しております。

多田衛生士



誤嚥について  
口から入った食べ物や飲み物は食道へ入ります。それが誤って気管に入ることを誤嚥といいます。（繰り返すと肺炎になる場合もあります）  
食事の時、頻繁にムセたり咳が出たりするのなら、それは喉の機能が衰えているサイン！まだ、高齢といわれる年代でなくても日頃からムセなどを感じる人は注意が必要です。防止策の一つでお口のケアはととても大切です。清潔に保ち、最近の繁殖を抑え肺炎リスクを減らしていきましょう。

青木看護師



マスクの着用と熱中症  
新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために「新しい生活様式」として、マスクの着用が推奨されています。ただし、マスクを着けていない状態と比べて、心拍数や呼吸数・血中酸素濃度・体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。気温や湿度が高い環境では熱中症のリスクが高くなります。屋外で人と十分な距離が確保できる場合にはマスクを外し、マスクを着けている時は運動などを避け、水分の補給をこまめにしましょう。

小野衛生士



欧米人の歯並びがきれい白いというイメージをお持ちではないですか？日本のように皆保険ではない国が多く、そのため虫歯や歯周病などの治療をなるべくしなくて済むように矯正をしたり定期的に検診をしたり、「予防」を目的とした歯科受診が一般的になっているからです。新型コロナウイルスの蔓延により、病院に行きづらいつとすることがあるかと思ひます。例えば感染が減ってきた頃合いに、痛みが出たり治療が手遅れになる前の「予防」を目的とした検診を検討されることをお勧めします。

岩田看護師



先日、職場の同僚と本の話になりました。彼女は小学生・中学生のお子さんを持つお母さんですが、下の子が本を読まないのだとこぼしておりました。そのお子さんはアニメは好きでよく見ているとのこと、せめて何か活字に触れて欲しいと思ひ、同僚は世間で流行っている漫画を全巻購入したそうです。しかし、お子さんは一巻に少し目を通したきり以外全く触れなかったそうです。  
私も含め、ある年代以降の人は『本はできれば読むべき、読んでいる子は安心』というような認識があると思ひます。私の父の時は『漫画を読むと馬鹿になる』と言われた時代でありました。  
時代によって良かれと思われる事は変化していきますが、自らが生きた中で受けた教育や習慣と違う人と出会った時（私は小学生に、将来なりたい職業はユーチューバー！と言われた時にかなり驚きました）人は違和感を感じると思ひます。そのような時に、自分はどのような行動や考え方をすると良いかと悩みますが、きっと正解はないのだと思ひます。大切なのは、仕事でも私生活でも、人と関わる時に自分はどうかあるべきかと心にいつも問うことではないかなと思ひます。  
同僚は「漫画、自分で全巻読んじゃったわよ」と言っていました。この出来事で、彼女の新たな漫画の世界が広がるのか、そこはちょっと楽しみではあります。

## 介護コラム

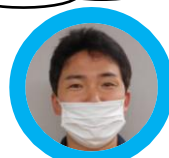
榎本施設長より



暑さ厳しく、オミクロン変異株BA-5が凄まじく増加、さらに変異株BA-2.75も重なり、第7波到来です。東京では3万人超え、全国となると20万人超えとも言われております。夏休みに入ると子供から大人まで感染者も増加に至るのではないのでしょうか？  
①屋外では、会話等をしないのであればマスク着用せず大丈夫。  
②人の行き交う場所では、マスク着用。  
PCR検査、医療従事者については4回目のワクチン接種を実施・予定されております。熱中症対策をしながら、対応はとて厳し限りです。徳耀会では、全職員について出勤前に本人及び家族の体調管理について、毎日報告することになっており、体調不良の方々は各事業所に入室することも禁止されております。利用者様・職員はマスク着用し、生活しております。そのためご家族様・関係者の方々につきましては、面会については控えさせて頂きたいと存じます。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。  
尚、ご家族様・関係者の方々より「元気で過ごしているか」心配と聞くことがありご本人様と電話に話したいと申し出があるようですが、スタッフもひとりひとりの利用者支援している関係上、その時間を取ることがとても困難です。その点につきましては、どうぞ控えて下さるようお願い致します。

追伸 介護保険負担割合証、後期高齢者医療被保険者証が届いているようでしたら、ご郵送下さるようお知らせ致します。

横尾介護職員より



普段、利用者の皆様とスタッフがどのように過ごしているのか、少しご紹介いたします。  
朝・昼・夕と三度の食事の前には、職員が中心となり、ラジオ体操や足踏み、口腔体操を実施し、心身ともにリフレッシュを促進！  
他にも、洗い終わった後の洗濯物干し、取り外して畳む作業、昼・夕食に使う野菜切り、出来たおかずの小分けなど「何か一つでもできる事はないかな？」と考え、日々、取り組んで一緒に過ごしています。

## 医療スタッフコラム